

ファミサポ だより



No.24 2017年
9月号

- 全体交流会
- 家の中の危険箇所チェック
- 事故が発生したら
- 乳児にハチミツは×
- フォローアップ研修

小田原市ファミリー・サポート・センターを運営している小田原市社会福祉協議会のイメージキャラクター「夢・咲き福ちゃん」です。

小田原市ファミリー・サポート・センター

〒250-0055 小田原市久野 115-2

TEL・FAX 0465-35-0053

Eメール odawara_shakyo-famisapo@yahoo.co.jp

いざという時に備えて

子どものための

救命救急講習

今年度の全体交流会は、小田原市消防本部の隊員さんによる子どものための救命救急講習です。

子どもに起こりやすい事故の予防と手当について、乳幼児～小学生の一次救命処置（心肺蘇生・気道異物除去など）をみなさんと再確認しましょう。



- 日時** 平成29年10月18日（水）
9:30～11:45（9:15～受付）
- 会場** おだわら総合医療福祉会館 4階 ホール
- 対象** 支援会員・依頼会員
支援センタースタッフの皆さん
- 定員** 25人（先着順）
- 申込み** 参加される方は、電話（留守電可）で
9月29日（金）までにご連絡ください。
☎ & FAX 35-0053

❀ **プログラム** ❀

- 9:15 受付開始
- 9:30～11:00 救命救急講習
- 11:00～11:15 休憩
- 11:15～11:45 交流会

※当日は動きやすい服装でお越しください。



残り湯でおぼれる

- ❗ 浴槽に水をためて置かない。
(深さ10cmの水でも溺れる)

コンセントにいたずら

- ❗ キャップをしておく。

階段から落ちる

- ❗ 上り口、下り口に柵をつける。

マグネット式のコードをなめて感電する

- ❗ 手の届かない所に置く。

ビニール袋をかぶる

- ❗ 手の届かない所に置く。

台所は危険がいっぱい

- ❗ コンロでやけど、鍋をひっくり返す
ガス栓のいたずら、まな板の上の包丁いじり
- ❗ 手の届く範囲に危険な物を置かない。
進入防止用ゲートを取り付ける。

大人の薬を飲む

- ❗ 錠剤などは口に入れやすい。
量も多く作用もあり危険。

洗剤を飲む

- ❗ 洗剤は手の届かない所に置く。

洗濯機でおぼれる

- ❗ 洗濯機には水をためない。
踏み台になるものを置かない。

蚊取り線香でやけど

- ❗ 使用しない。

トイレに手をつっこむおぼれる

- ❗ 使用後はフタをする。

ドアに指をはさむ

- ❗ 開いたままにしない、開閉時に気を配る。
すき間防止カバーをする。

箸や歯ブラシ、ボールペンを持つまたはくわえてよちよち歩き

- ❗ 手の届くところにおかない。
持ってたらすぐにとりあげる。

ベランダから落ちる

- ❗ ベランダに踏み台になるものを置かない。

扇風機に指を入れる

- ❗ ネットをかぶせる。

ガラスにぶつかる

- ❗ ガラス等透明な物にはシールをはる。

化粧品をなめる、飲む

- ❗ 使い終わったらきちんとしまっておく。

ストーブでやけど

- ❗ 柵をつける。

引き出しに手をはさむ

- ❗ きちんと閉めておく。

布団で窒息する

- ❗ うつぶせ寝の場合は、
枕を置かない、硬めの
マットを使う、シーツ
をしわにならないよう
ピンとかけるなどの注
意が必要。ぐるぐる
まわって位置をかえ
ることもあるので足
元の布団も危険。

積み上げた布団

- ❗ 片付けよう。

寝ている時にも注意

- ❗ 寝たままの頃は布団や毛布が顔に
かからないように気をつけよう。
特に顔に乗った物を自分で払い
のけられない頃は要注意。

おもちゃやペットボトルのふたを口に入れる

- ❗ あめ玉、ナッツ類を飲み込む等
(ナッツ類、ボタン電池は特に注意が必要。
直径4cm未満のものは、すべて危険と
心得て対応しよう。
急に大声をかけると驚いて飲み込む
ことがある。)

ベッドから落ちる

- ❗ ベッドの柵をする。ベッドの柵は
いつも上げておくのが安全。動
かないと思ってもずり落ちること
がある。

殺虫剤・ホウ酸ダンゴを口に入れる

- ❗ 手の届かない所に置く。

タバコや灰皿を口にする

- ❗ 手の届かない所に置く。
(特にタバコは大人のまねをして口
に入れます。
タバコの入った灰皿の水は特に危険)

アイロンでやけど

- ❗ 使い終わったら片付ける。

転んで頭をぶつける

- ❗ コーナークッション
をつける。

玄関から落ちる

- ❗ 目を離さない。

観葉植物の土を食べる

- ❗ ネットをかぶせる。

テーブルクロスをひっぱる

- ❗ はずすか、しっかり
固定する。

靴の紐で首を吊る

- ❗ 靴をかたずける。

100°Cのお湯

家の中の危険個所をチェック

毎日、何気なく過ごしている我が家。

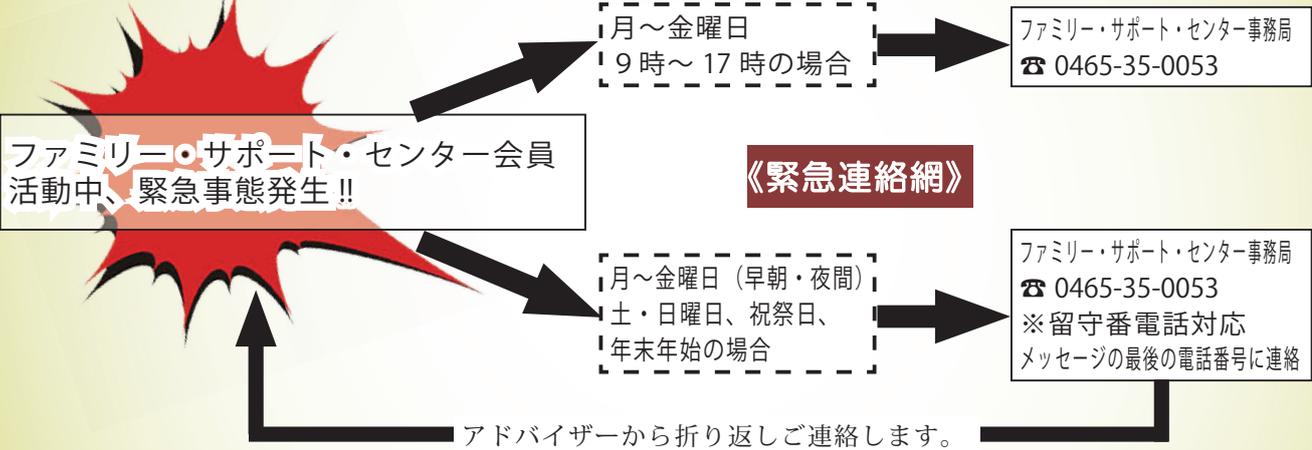
大人の目からは気づきにくい、子どもにとっての危険箇所。

子育て真っ最中の方はもちろん、お預かりのお子さんが自宅に
来られる方も、この機会に家の中をチェック！してみましょ。



子どもの心身の発達は、驚くほどの早さで日々成長し、好奇心も旺盛です。
予想しない行動を予想もしない時にするの、子どもの成長の一つと心得て、
子どもの目線で、家の中を見直してみてください。

万一事故が発生したら... 活動中にお子さんが病気になったりケガをした場合、支援会員はお子さんの保護者とセンターへその状況と対応について連絡をして下さい。緊急を要する場合は、まずは救急車を呼んで病院受診をすることが重要です。



《物損事故の場合》

被害を受けられたかたにはお詫びを申し上げるとともに、被害にあった物がどのような物（状態）であるかを確認し、センターに連絡をして下さい。



1歳未満の乳児にハチミツは

東京都内の生後6カ月の男児が、市販のハチミツを混ぜたジュース

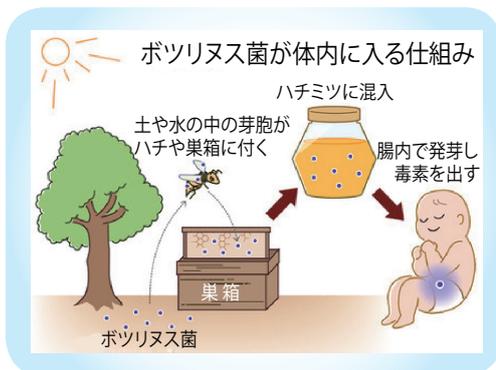
を与えられたことが原因で「乳児ボツリヌス症」によって亡くなりました。

健康食品として知られているハチミツですが、消化器官が十分に発達していない1歳未満の乳児にハチミツを与えるのは避けてください。

【ボツリヌス症・乳児ボツリヌス症って】

ボツリヌス症は食べ物や、汚染土壌などから感染するまれな疾患で、早い段階での治療をしないと麻痺や呼吸困難、また死を招く危険があります。

おもに1歳未満の乳児が、食品（ハチミツなど）に混入した菌を直接食べた場合、腸管内で菌が発育・増殖し、その時に産生された毒素が腸管から吸収されて起こる疾患が乳児ボツリヌス症です。



follow up 12/6 (水) 10:00~
フォローアップ研修

誰でもできる
 針を使わずフェルトでコサージュ作り

場所：おだわら総合医療福祉会館
 ※詳細は、葉書でお知らせいたします。

小田原市ファミリー・サポート・センター
 ◎問い合わせ・申し込みは
 平日（月～金曜）の午前9時～午後5時でお願いいたします。
 〒 250-0055 小田原市久野 115-2
 おだわら総合医療福祉会館 1 階
 TEL・FAX 0465-35-0053 (直通)
 Eメール odawara_shakyo-famisapo@yahoo.co.jp

◎運営主体／社会福祉法人小田原市社会福祉協議会
 電話 0465-35-4000 (法人代表)
 F A X 0465-35-6902 (法人代表)
 ホームページ <http://www.odawarashakyou.or.jp/>